

平成 28 年度（2016 年度）宝塚市人権教育推進委員会（概要）

会議名	平成 28 年度（2016 年度）第 1 回 宝塚市人権教育推進委員会
日 時	平成 28 年（2016 年）6 月 29 日（水）10：00～12：00
場 所	宝塚市立教育総合センター 2 階 青少年センター会議室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 悦喜委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 五十嵐委員 <input type="checkbox"/> 安井委員 <input checked="" type="checkbox"/> 平田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 谷添委員 <input checked="" type="checkbox"/> 奥委員 <input checked="" type="checkbox"/> 林委員 <input checked="" type="checkbox"/> 大西委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和久委員 <input checked="" type="checkbox"/> 加藤委員 <input checked="" type="checkbox"/> 薄田委員 <input type="checkbox"/> 宮原委員 <input checked="" type="checkbox"/> 花岡委員 <input checked="" type="checkbox"/> 藤井委員    （ <input checked="" type="checkbox"/> 出席/ <input type="checkbox"/> 欠席）
傍聴者	0 名

- 須貝教育長より委嘱状の交付
- 須貝教育長よりあいさつ
- 委員の自己紹介
- 配布資料の確認
- 委員長及び委員長代理の選出  
立候補者がなかったため、事務局より提案  
委員長：和久有彦委員、委員長代理：平田武二委員を選出

委員長	<p>2007 年から宝同協の代表として来ている。</p> <p>これまで意見書を提出したり、パンフレットも作成してきた。</p> <p>2 年間、微力ながら務めていきたいと思う。</p> <p>新たな気持ちで与えられたものに対して責任を持ってやることが大事なことだと思う。</p>
委員長代理	<p>1 年間のブランクはあるが、頑張りたい。</p> <p>委員長の教育畑とは違うが、違った視点での考え方を踏まえながら委員長をサポートしていきたい。</p>
委員長 事務局	<p>この委員会は審議会となっている。本日の傍聴者はいるか。</p> <p>本日の傍聴者はいない。</p>
委員長	<p>推進委員会に対する諮問内容について事務局より説明いただきたい。</p> <p>※事務局より提案（別紙）</p>

委員長 諮問内容について質問はあるか。

委員 これは最終的には答申となっているが、「検討いただきたく」という文言があるが、発展したかどうかについての答申をすればよいのか。

委員 「保幼小中特別支援学校」となっているが「高校」が入っていない理由は。

事務局 充実・発展については、どのような取り組みや方法があるのかということについて議論いただきたい。

委員 高校は入っていないが、高校との連携の必要性も感じている。

委員 諮問内容は決まっていると思う。ただ、先ほどの事務局の説明だと高校との連携も視野に入れていくということなのか。

委員長 保育所についても考えていくということならば、なぜ保育所の方がメンバーに入っていないのか。

事務局 ぜひ保育所の方からも意見を聴きたいと思う。

事務局 まずは保育所から中学校までを考えていただきたい。

委員 いずれは高校との連携も視野に入れて進めていきたい。

委員長 保育所の方にも委員会に出てもらえるように考える。調整をしていきたい。

委員 市教育委員会としては、高校は管轄外で、私立も管轄外である。

事務局 保育所のことを考えるならば、やはり保育所の方にも出てきてもらえるようにしてもらいたい。

委員 昨年度、提言書を作成するときに保育所のことについて書くときに、保育所の方がいないことで困ったことがあるので、できれば参加してもらいたい。

委員長 委員としての追加は定員規定があるので無理だが、例えば参考人として呼ぶことや、保育所への視察に行くことは可能である。

委員 これはあくまで公立校園のことだと思うが、宝塚市民ということで我々としては私立のことも考えてあげたいと思う。

事務局 諮問内容として1つめは、保幼小中特別支援の連携。2つめは市民への啓発ということになる。昨年度と内容としてさほど変わりはない。

委員 今年度から新たに委員になられた方もいるので、ブロック研について事務局から説明していただきたい。

事務局 中学校区ごとに市内を11のブロックに分け、そのブロックの保幼小中の教員が集い、人権教育の授業・保育公開と研究協議をおこなっている。

委員 昨年、一昨年は委員会としてブロック研に参加させてもらった。

事務局 前回の提言より、より深く考えていく必要がある。

委員 パンフレットについては毎年改訂している。

事務局 過去に安倉中学校で差別落書き事件があった。その後、確認会や学習会が行われてきた。その中で、市教育委員会として教員への指導やカリキュラムの点検、見直しを行うとしてきたが、個人的にはその目的は達成されていないと感じる。

委員 そうした中で、学校教育への参考になるものとして、このパンフレットを作成してきた。推進委員会としてプライドを持って作成してきた。

全教職員に配布してもらっている。  
これは、宝塚市の人権関係の一つの資料となるものである。

- 委員長 次に、今年度の活動について計画したい。  
その前に、平成 26・27 年度の活動について簡潔に説明してもらいたい。
- 事務局 ※事務局から説明（別紙）
- 委員長 できればどこかに視察に行きたいと思う。どこか希望はないか。
- 委員 京都崇仁地区、柳原銀行記念館など
- 委員長 ブロック研を見に行きたい。  
保育所を見に行ければと思う。  
人材育成を積極的にしている市があれば。
- 委員 人材育成ということであれば、隣の伊丹市では、市民がかなり役割を担っている。伊丹市の取り組みを見学したり、意見交流できればと思う。  
話をつなげることは可能である。
- 委員 大阪の西成でフィールドワークをしたことがある。ホームレスを宝塚市で見かけることない。夏と冬とでは様子が違う。冬の炊き出しを見てもらいたい。  
子どもたちの教育にも何かしら役立つと思う。
- 委員長 諮問内容とはやや違うが、我々の学習の場として行ければと思う。
- 委員 人権の見方の幅が広がると思い、提案した。
- 委員 中学生を中心に不登校の子どもが多いという現状がある。おとなとしてどう関わっていけるかを考えている。不登校の子どもの人権を考えたい。何とかできないものかという思いがある。
- 委員長 親の会や不登校生の通うスクールなどで話を聴くことはできないだろうか。  
虐待、貧困、体罰は子どもたちにとって不幸なことである。
- 委員 ブロック研を見に行ければ、あまり他のブロック研を見に行くことはないの  
で参考になる。
- 委員長 視察については事務局と協議して決めていきたい。
- 委員 過去には解放文化祭にも参加したことがある。その後に委員会を設けたこと  
もあった。
- 事務局 解放文化祭は、くらんどが 10/27・28、まいたにが 11/10・11、ひらいが 11/11・  
12 の日程で行われる。
- 委員長 ブロック研については決めたい。
- 委員 中山五月台の児童生徒数がとても減少していると聞く。  
11/9 の中山五月台中ブロック研はどうか。
- 委員長 それでは、11/9 の中山五月台中ブロック研（会場：中山五月台小）に行くこ  
とにしたい。第 6 回あたりになると思う。
- 委員長 次回（第 2 回）の日程を決めたい。  
※委員の協議により、7 月 19 日（火）10：00～に決定。

委員長 次回は会議を行う。「提言書」と「先生と市民のために人権教育・啓発パンフレット」を持参してもらいたい。

次回の会議に以下の資料を準備してもらいたい。

- ・ 学校園一覧表
- ・ 問題行動（文科省に報告しているもの）として公表できるもの
- ・ 市内の加配教員の配置が分かるもの

委員長 他に市や教育委員会が主催している講座などの案内。

委員 部落差別解消に向けていずれ実施されるであろう市民の意識調査について、意見が出しあえる時間が持てればと思う。

委員長 意識調査は現状を知るうえで大事なこと。

一昨年前ほどに兵庫県が人権啓発協会と一緒に作り実施した意識調査の結果を提示してもらいたい。併せて、宝塚市が過去に行った調査の結果も用意してもらいたい。

委員長 保幼小中の連携のことについてすでに話が進んでいるのか。

事務局 今年度、保幼小中の連携は 6 校区で行っている。

委員長 われわれが知らないところですかすでに進んでいるようだ。そうした中で、諮問されても困る。市が取り組んでいることは教えてもらいたい。

保幼小中の連携の現状が分かる資料も提示してもらいたい。

委員 資料について、ここで配布される資料の公表はできるのか。

事務局 資料の公表については内容によって判断していく。